

2017/8/27 トライアスロン珠洲参戦記

西村博明

今年の7月から新加入の西村です。はじめてミドルの大会に参加したので参戦記書かせていただきます。

トライアスロン珠洲とは能登半島の先端にある石川県珠洲市で開催されるトライアスロン大会です。Aタイプ

(128km)、Bタイプ(62.8km)があります。私はAタイプです。



○スイム (2.5km)

当日は海水温 25℃でうねりもなく波も穏やかで、透明度がとても高く海底がはっきり見えて、泳ぎやすそうに思いましたが、潮の流れがとても速く、行きは速いのですが、折り返し後は激しい逆流で、大変苦労しました。

折り返し後、コースの目印のブイが、すごい潮の流れに引っ張られ、海面の下になっているところがありました。そのせいで、正規のルートから外れてしまう人がたくさんいました。私も「コースアウトしてますよ！戻ってください！」とレスキューの方に言われました。でも、潮の流れが速いせいで、なかなか正規のルートに戻れませんでした。

私は泳ぐのが遅いうえに、蛇行したので、スイムに1時間32分かかってしまいました。制限時間が1時間40分だったのでギリギリでした。

2014年→7人、2015年→2人、2016年→7人、2017年→178人！！がスイムでタイムアウトとなったそうです。

○バイク (102.2km)

バイクのコースは美しい海岸線と過酷な峠のあるコースです。大雑把に10kmごとに小、中、大の坂があります。最後の坂を「大谷峠」といいます。最大斜度16度です。

Aタイプはこのコースを2周します。私は漢ギアならぬ乙女ギア(34T)のsprocketで「大谷峠」に挑みました。



暑さと「大谷峠」に苦しみながら、足を攣りそうになりながらもなんとか最後まで集中して走ることができました。

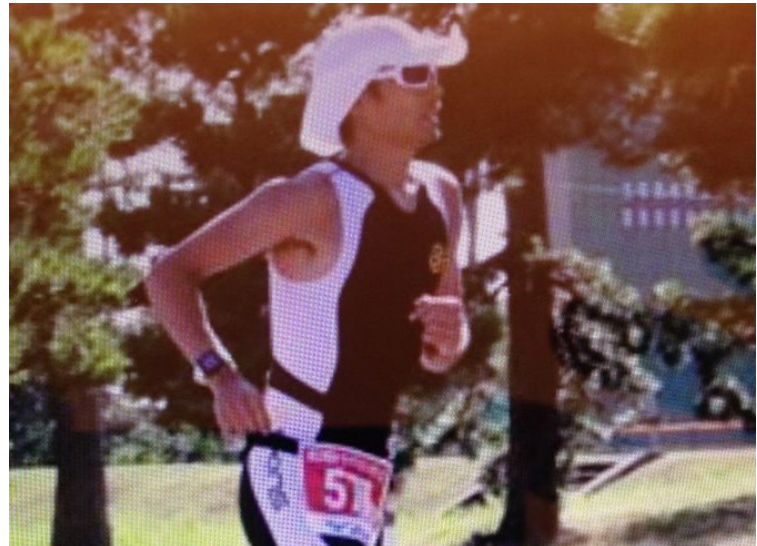
あと、珠洲に参加して驚いたのはコースに車の侵入制限されていないことです。レース中に登りで車に追い越されるのはいいのですが、下りで対向車とすれ違うのはちょっと怖かったです。

○ラン（23.3km）

ランのコースも車の侵入制限されていなくて、交差点ではお巡りさんや、スタッフの方が、選手が通り終わるまで車を止めてくれました。スタッフの方や、住民の方のあたたかい応援がとても励みになりました。

私はバイクで足が攣りそうだったのに、走り出したところ、なぜか調子が良く感じ、「これは行ける！」と最初から飛ばしていきましました。しかし、すぐに減速してしまいました。

Bタイプの5kmの折り返しで、私も本当に戻りたくなりました（泣）



Aタイプは能登半島の観光名所の「見附島」まで12km弱、行って戻るコースです。「見附島」を参加者のみんなに見てもらおうという、お気持ちはありがたいのですが、できれば10kmで折り返したかったです（泣）。

私は折り返してから足が攣って大減速してしまいました。エイドで頭から水をかけてもらい、スポンジで足や首などを冷やししながら、なんとか走っていましたが、あと3kmぐらいからとうとう歩いてしまいました。

そうして、苦しみながらも少しずつ進んでいくと、ゴールの野球場が見えてきました！すると、全身攣ってたのに、なぜか元気に走り出し、なんとかゴールを迎えることができました！！ゴールまでなんと8時間以上かかりました（笑）

トライアスロン珠洲は、なにか地域全体で歓迎してもらっているような、あたたかさを感じることができる大会でした。

今年はランで歩いてしまい、不完全燃焼でしたが、最後まで走り切れるようにしっかり練習して、また来年リベンジしたいと思います。